

新秩序構築の難しさ

して戦後25年の間に世界で法や規律を担保する力として第2の経済大国へと飛躍的作用することにより保たれて台頭を遂げる。この間、日きた。ところが今日の世界で

らるゝ、今後とも國際秩序を担保する絶対的な力は現れないであらう。結局は異なる地域の秩序はその地域の求心力で保たざるを得ないのではないか。また、ウィーン体制と本質的に異なるのは、そのような求心力は勢力均衡で生まれるのではなく、経済や環境、信頼醸成といった機能に着目した協力を進めることによってしか生まれることはないのだらう。